
もしも学校1のモテ男子と付き合ったら・・・

今中 瑠維

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

もしも学校1のモテ男子と付き合ったら・・・

【Nコード】

N7080X

【作者名】

今中 瑠維

【あらすじ】

たかが恋愛なんて

と思っていた擦は、ある学校1のモテ男子に告白されて・・・!!

登場人物紹介

《主人公》

* 保崎 捺 ホザキ ナツ

ニツクネーム？なっちゃん

高校1年生 黒髪シヨート 赤メツシユ

情報？女子 恥ずかしがり屋 人見知り いつも笑顔 一途

《友達》

* 真崎 奈菜 マザキ ナナ

ニツクネーム？なーちゃん

高校1年生 茶髪ロング 金メツシユ

情報？女子 保崎捺の良き親友 たまに叫ぶ 陽気 友達思い

* 新仲 侑 シンナカ ユウ

ニツクネーム？ゆーちゃん

高校1年生 金髪ロング

情報？女子 転校生 霊感強 いつもニコニコ よくピースを

する

* 佐火実 茄熙 サカミ ナオキ

ニツクネーム？なおちゃん

高校2年生 黒髪 銀メツシユ

情報？男子 上から目線 結構モテてる

* 神崎 稜 カンザキ リョウ

高校2年生 白銀髪 ウルフカット

情報？男子 学校1のモテ男子 捺に気がある

《教員》

?担任

美真坂 ミマサカ

美月 ミツキ

?学園長

矢神 ヤガミ

純子 スミコ

?教頭

若中 ジャクナカ

瓊 ヨウ

憧れの高校への入学（1）

2008年、ある晴れた春の日に桜咲学園オウサカガクエンの入学式が行われようとしていた。

「……………んー、気持ち良いー」

と、校舎の前で大きく伸びをしたのは後に凄いことに巻き込まれる『保崎捺』だ。

「今日からここが私の通う高校かあ……」

捺は大きな校舎の前から、綺麗な校舎を見つめキラキラと目を輝かせていた。そりゃ目を輝かせて校舎を見つめるのにはそれなりの理由がある。それは、捺が小学校6年生の頃、捺の親戚に当たる人が桜咲学園に入学した。その人が言うには、桜咲学園での学校生活は他の高校より何千倍も楽しいらしい。だから、捺は桜咲学園を志望校にしたそうだ。

「おはよおございます、保崎さん」

捺に声を掛けてきたのは、後に捺の大親友とも言える程、仲が良くなる真崎奈菜だ。

捺は初めて声を掛けられたので、少し驚きつつも、

「お、おはよおございます……えーと？」

「あ、私は、真崎奈菜といます」

奈菜は、捺の少し困った様子を見ては自分の名前を言い、微笑ん

だ。

「あ、すいません…真崎さん、」

少し戸惑いつつも捺は、ニコツと微笑み返した。

「あ、そおだ、私と保崎さんは同じ部屋なんですよ?」

いきなり思い出したように、口を開いては部屋の鍵の番号を見せ
てきた。その番号を見た捺は自分の鍵の番号を見て驚いた、と言っ
か、嬉しさが込み上げて来た。

「ホントだ!よ、よろしくね、」

捺は奈菜に手を差し出し握手を求めた。すると、奈菜も「よろし
く」と言っって捺の手を握り締めた。

「あ、もう直ぐ式始まるよ!行こ!」

奈菜は捺の手を握り締めて会場まで走って案内した。

憧れの高校への入学（2）

「会場到着！」

奈菜はニコニコして、捺の方を向いた。会場は大きなパーティー会場のように綺麗だった。捺の目には入学式会場がとても輝いて見えているのか、奈菜は無視と言ったところだ。

「なっちゃん？…オーイ、式始まっちゃうよ？」

奈菜は少し呆れつつも、捺の目の前に手を上下に動かして、言った。

捺は「あ、ごめん」と苦笑い浮かべながら手を合わせて謝った。2人は小走りで会場に入り、指示された場所の椅子に座った。

「これから、第××回、入学式を行います。」

と、学園長と思われる人がマイクに向かって口を開いた。すると、教員生徒共に全員が姿勢を正し、前を向いた。

「新入生代表、 榎阪捺」

いきなり、捺の名が会場に響き渡った。それを合図に捺は「はい」と言っただけで前に歩いていった。

捺は、受験1位で通り新入生代表に選ばれたのである。捺の両親はさぞかし喜んだであろう。

捺は、前に立つと綺麗に御辞儀をして再度前を見た。

「新入生式辞」

と、学園長が言うと捺は式辞を読み始めた。――

式辞を読み終わり、緊張がほぐれたのか捺の顔は少しほぐれていた。

また、綺麗に御辞儀をして自分の椅子に戻った。「ハア……緊張したあ」と、椅子に座るとほぼ同時に小声で呟いた。

「なっちゃん、よかったよ！」

と奈菜もニコニコしながら小声で話し掛けた。捺は小さく親指立てて「グー」と答えた。――

「これで、第××回、入学式を終わります」

と、学園長が口を開いた。すると、新入生はまだガチガチだが、2年生、3年生は「ああ……疲れたあ」と言って教室に戻って行った。2、3年生が居なくなると、新入生は緊張が少しほぐれたのか、肩の力が抜け、強張った顔に少しばかり微笑が見えた。

「それでは、新入生の諸君、これから3年間、素晴らしい学校生活を楽しんでくださいね？」

学園長は、微笑みながらマイクで新入生へ向けて言った。新入生は、「はい」と良い返事で返した。その返事を聞いた教員は初めて笑顔を新入生に見せた。

「じゃあ、教室に行きましょうか」

そう言ったのは捺達の担任の「美真阪 美月」26歳だ。
新入生は、「はい」と返事しては席を立ち各教室に向かった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7080x/>

もしも学校1のモテ男子と付き合ったら・・・

2011年11月16日21時26分発行